

令和6年度 奨学後援会総会資料

学校の概況

令和6年6月23日

広島商船高等専門学校

目 次

ご挨拶（校長 逸見 真）	23
学生教育（教務主事 河村 義顕）	24
学生支援（学生主事 朝倉 和）	25
学寮生活（前寮務主事 内山 憲子・新寮務主事 濱田 朋起）	27
広報活動（前広報主事 風呂本 武典・新広報主事 大沼 みお）	29
進路指導—商船学科—（就職担当：村岡 秀和，茶園 敏文）	31
進路指導—電子制御工学科—（就職担当：大和田 寛）	32
進路指導—流通情報工学科—（進路指導担当：金子 春生）	33

ご挨拶

校長 逸見 眞

奨学後援会の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また日頃より本校における学生教育及び指導へのご理解とご支援を頂き、誠にありがとうございます存じます。

小職、令和6月4月1日付けにて、河口信義前校長の職を引き継ぎました逸見と申します。赴任後間もなく、何分不慣れではございますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて令和6年度の奨学後援会新年度総会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

コロナ禍も漸く下火となる兆しを見せ始めました昨年度より、企業の業績は好転を見せ、株価も上昇し始めた社会情勢は全般に好況の最中にあると評される一方で、尚、家計に余裕のない家庭とその児童、就学生の規模に顕著な改善は見られていないのが現実です。

学生が教育を受けるに必要な経済的支援は、当人にとり将来への投資であり、有為な人材に成長するための基盤となります。よってその不足や先細りは学生に、ひいてはその者が属する教育機関に対して良い影響を与えません。本校にも同様の環境下にあると見られる学生が就学する現状、それらに奨学の手を差し伸べ、学生生活に支障の生じないように取り計らう意義には誠に大きいものがございます。

これを逆に捉えれば、これまで学業及び学生生活を成就させ、社会へと羽ばたいていった多くの本校学生が奨学後援会殿より奨学支援を頂いたことに、改めて感謝申し上げますなければなりません。

この報告書は慣例に従い、昨年度の学生教育、学生支援、学寮生活、広報活動に関するご報告に加えて、各学科の進路指導の実績について記載致しております。内容のご高覧により本校学生が地道に学問の修得及び課外活動に励み、これを支える教職員が真摯に学校運営に取り組む様子を垣間見て頂けるのではないかと拝察いたします。記載内容に関するご意見、ご要望があればお知らせ下さいますよう、お願い致します。今後の取り組みへの糧とさせて頂きたく存じます。

引き続き本校へのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

学生教育

教務主事 かわむら 河村 よしあき 義顕

1. 令和5年度の取り組み

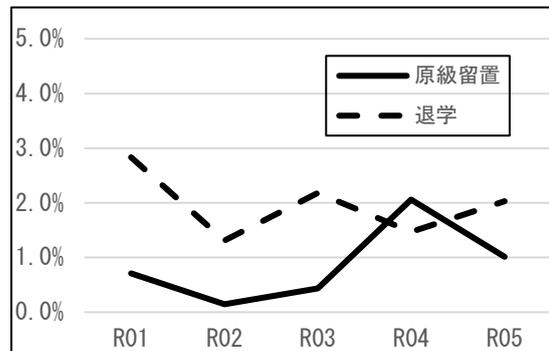
(1) 高専教育の質保証

本校では高専が掲げる「学生が自ら成長できる環境の整備および教育の実践」をテーマに、激変する社会状況の変化に対応するために必要なカリキュラムを年度単位で見直し、社会のニーズに合った人材を育成する取り組みをしております。昨年度より卒業要件であるディプロマポリシー、教育課程の編成方針であるカリキュラムポリシー、入学者受入方針であるアドミッションポリシーにつきまして、学生と保護者の皆さまにもご理解をいただけますよう、周知させていただいております。

(2) 再試験制度による原級留置者減少

再試験制度とは本校独自の制度であり、定期試験で単位が不認定であった科目については、成績確定後（学年末を除く）であっても、学力補充の機会を設け、単位を年度の途中で認定する制度となります。学生が学ぶことをあきらめない教育環境を整えていきたいと考えております。

グラフは学生の原級留置者と退学者の推移を示しております。原級留置率につきましては前項の再試験制度の効果か、減少しております。退学率についてですが、退学理由のほとんどが進路変更であることから、毎年全学生数に対して2%の学生が進路変更を選択していると推測されます。それを踏まえまして、特別活動における就職活動に対する情報提供も考えていきたいと考えております。



2. 令和6年度の方針・取組

(1) 新分野への挑戦 (DX人材の育成)

昨年度、日本船用工業会様と海事関連企業の参画により、Society5.0の未来社会像を踏まえた商船教育の未来像を検討するセミナーを本校で開催しました。外部識者による講演会と日本で初めて船舶に対するサイバーセキュリティ演習を、実際の船（本校練習船広島丸）にて実施しました。セミナーには全国高専から学生が集い、知見を深めあいました。

また、近年注目されている無人航空機を運航するために必要なライセンス（無人航空機操縦者技能証明書）を取得しようとする学生等に対し、無人航空機の飛行に必要な知識及び能力の付与するため、国が定める施設及び設備、講師等に係る要件を満たした登録講習機関として講義を行います。この科目は学科を問わず2年生以上であれば履修することが可能なので、学生が自分の就職あるいは起業に役立ててほしいと願っています。

(2) ポートフォリオ教育

ポートフォリオ教育とは、学生が自分自身の教育あるいは学修成果を保存・蓄積し、客観的に整理・分析することで、自分を成長させるためには何が必要かを考えるメタ認知能力を育てることを目的とした教育手法です。就職に有利な必要な資格・検定の取得だけでなく、自分自身を支える資質の向上にも有効ですので、これを推進してまいります。

(3) 新しい教育手法

昨年度に流通情報工学科棟を改修しました。この改修において、学生が地域や社会で起きている問題や課題を発見あるいは企業との提携によって、学生が主体となってその解決方法をグループディスカッションやディベート、グループワークを通じて解決策を導き出すアクティブラーニングを展開しやすい広めの教室を2室配置しました。これにより学生の知識欲・研究欲を刺激し、学習への意欲向上につながることを期待します。

学生支援

学生主事 あさくら 朝倉 ひとし 和

奨学後援会の皆様におかれましては、日頃から本校の課外活動等に対して、多大なるご支援をいただき、大変感謝しております。

1. 就学支援・入学金や授業料の免除、各種奨学金制度について

1年生から3年生までの学生に関しては就学支援金制度により授業料の支援を行っています。4年生以上の学生には授業料免除の制度があり、令和2年度からは高等教育の修学支援新制度という新たな制度が始まりました。この新制度では、授業料減免に加え奨学金の給付が行われます。旧来の授業料免除制度は新制度に置き換わりませんが、令和元年度に4年生以上に在学していた学生は、卒業または専攻科を修了するまで、新制度に加えて旧来の授業料免除制度を受けることができます。令和5年度は、40名が授業料免除制度の対象となりました。

その他、入学金や授業料等の免除、各種奨学金の案内や手続き等については、ホームページで案内しておりますので、申請する場合は、学生係で必要な書類等を受け取り、期限内の提出をお願いいたします（学生係：0846-67-3023）。

2. 新入生オリエンテーション

4月10～12日に、国立山口徳地青少年自然の家で新入生オリエンテーションを実施しました。前年に引き続き、学生会やクラブの代表者から構成される、ピアサポーター（上級生）が同行してくれて、充実した内容で終わることができました。オリエンテーションを出発点とする、ピアサポート制度とは「1年間を通して、普段の勉強や試験対策、寮生活、クラブ活動等の相談及びサポートをする制度」です。この制度は、リーダー育成の要素も含まれており、この本校の取り組みは高く評価されています。

3. 高専体育大会

6月中旬から7月にかけて、中国地区の8高専がそれぞれ各種目の主管をつとめ、中国地区高専大会が開催されました。本大会は、高専生が一番熱くなる対外試合と言っても過言ではありません。昨年度は陸上部と水泳部の躍進が目立ちました。また、全国高専大会では、卓球競技・女子ダブルスの部で優勝を飾りました。

4. 全国商船高専漕艇大会

7月17日、全国商船高専漕艇大会が、大島商船高専で開催されました。本校Aチームは健闘及ばず準優勝、Bチームは快漕し、見事二連覇を果たしました。

5. ロボコン

10月22日に、高専ロボコン2023中国地区大会が呉市総合体育館で開催されました。今回の競技課題は「もぎもぎ！フルーツGOラウンド」、時間内に障害物を乗り越え、フルーツを収穫・運搬し得点を競います。本校Aチーム（チーム名：風鈴華山）は、決勝戦で呉高専Aチームを撃破し、中国地区大会優勝を収めました。引き続き、11月26日に東京・両国国技館で開催された全国大会にも出場し、全国ベスト8という好成績を収めることができました。



6. 令和6年度の方針・取組

今年度も4月8日～10日に、国立山口徳地青少年自然の家にて新入生オリエンテーションを行いました。今回も上級生による手厚いサポートがあり、これから年間を通じて、勉強・試験対策・寮生活・クラブ活動等、様々な面で助言やサポートがあります。

また、4月16日には、新入生を対象に部活紹介が行われました。新入生達は、4月の体験期間を経て、各自、意中の部活を選んだようです。部活動に関しては、7月に恒例の中国地区高専大会があります。今年度の全国高専大会は、主管が北海道地区なので、例年に比べて、学生の部活動に対する熱意をヒシヒシと感じる昨今です。

基本的には、昨年度と同様、部活動や、商船祭をはじめとした各種イベントを通して、学生達に楽しく充実した学校生活を過ごして欲しいと考えていますが、新しい取組として、①自転車リユース制度、②学生と教職員との懇談会開催にも着手しています。

①に関しては、卒業生の不要自転車を、学校・学生会が仲介することにより、それを必要とする学生へ譲渡する制度です。本校は離島に位置するため、自転車の購入・修理・廃棄に手間がかかり、長年頭を悩ませてきました。今回の試みで、この問題が少しでも解消されることを願っております。

また、②の懇談会では、学生会が集約した学生全体の意見に関して、直接、学生と教職員（管理職）が交渉します。学校（寮も含む）の設備や施設、カリキュラムや授業内容、学生が学びやすい環境づくりにおいてどのような支援やサービスが必要か等、学生のニーズが学校運営に反映されることを望んでいます。

学寮生活

前寮務主事 内山 憲子
新寮務主事 濱田 朋起

うちやま のりこ
はまだ ともゆき

1. 寮生数と再入寮制度について

(1) 寮生数

今年度の若潮寮は、1年生102名（男子83名、女子19名）、留学生1名（男子1名）の新入寮生を迎え、総勢421名でスタート致しました。

(2) 再入寮制度

近年、新入寮生は男女合わせて100名を超えております。

学生寮の入寮期限は3年間であり、4年次からは1年間を限度とした再入寮許可制となっています。そのため、4年進級時と5年進級時に再入寮手続きが必要となりますが、必要となる新入生の居室数から判断して総収容人数の超過が予想される時には、生活態度が乱れている場合や公共交通機関を利用した通学が可能な場合等には再入寮を許可しないことがありますので、どうぞご承知おきくださいませ。

学年	男子	女子	合計
1年生	83	19	102
2年生	78	21	99
3年生	64	14	78
4年生	50	22	72
5年生	55	15	70
合計	330	91	421

2. 寮の現状

(1) 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行

寮内では令和5年4月よりマスクの着用は任意とし、5月には寮食堂の衝立も外しました。

今までは開催が難しかったイベントも行うことができるようになり、コロナ制限前の生活ができるようになっております。これまで、コロナ禍での集団生活で保護者の方にご心配ばかりおかけしており、申し訳ございませんでした。

(2) 寮での病院対応

学生から体調不良の連絡を受けた場合、基本的な病院対応は37.5度以上の高熱の場合や高熱でなくても診察を希望している学生に対して行っています。

今年度、病院へ連れて行った人数は195名で（およそ2人に1人を搬送している計算）、感染症の検査を行って陽性と診断された学生は103名（新型コロナウイルス感染症65名・インフルエンザウイルス感染症38名）でした。

コロナウイルス感染症は10月頃までの罹患が多く、11月以降は減少しましたが、その後にはインフルエンザ感染症が流行り始め、1月には多くの罹患者が出ました。

昨年度もインフルエンザ感染症が流行りましたが、今年度は前もって学生に予防接種を受けさせてくださった保護者の方が多くいて下さったので、寮内拡大は最小限に防げたのではないかと考えております。ご協力いただきましてありがとうございました。

今年度、コロナウイルス感染症の流行は収束の兆しはあるものの、感染症が無くなったわけではありませんので、体調不良の場合は無理をせずに、早めに寮事務（寮務係：0846-67-3024）へご連絡下さるようお願いいたします。

(3) エアコンリース

令和6年4月より居室のエアコンがリース契約に切り替わります。

これまでのエアコンは10年以上使用してきたものであり、温度の集中管理ができなかったため部屋によっては室温を下げすぎることによって結露が発生し、その水が廊下まで溢れ出す危険な状態も見受けられましたし、カビが生える原因を作ってしまうことにもなっておりました。

今後は、寮事務で温度の集中管理も行えますし、省エネ稼働のものであるため使用期間や使用時間を延長できる可能性もございます。

3. 令和6年度の方針・取組

(1) コロナ禍前の学寮生活への移行

これまで、新型コロナウイルス感染症に伴い、学寮生活においてさまざまな制約または特別な配慮をせざるを得ない日々が続き、寮生たちにはさまざまな制約を強いることもありました。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、コロナ禍における学寮生活で変更したところを活かしながらも、徐々にコロナ禍前の学寮生活および指導へ移行していきたいと考えております。具体的には、おもに以下のようなことを検討しております。

- ・ 寮生会イベントの緩和および支援
- ・ 寮内生活における特別措置の解除および寮生指導の強化
- ・ 学生寮の門限の見直し
- ・ 学生寮における病院対応の見直し

また、より良い学寮生活を維持していくために、多くの寮生を抱えている若潮寮においては、守ってもらいたいルールを設けております。学寮生活は、社会活動の縮図であると考えておりますので、決められたルールに従わない寮生におきましては、指導を強化していく予定です。保護者のみなさまにおかれましても、寮生の指導につきまして寮務主事室へのご理解を改めてお願い致します。

(2) 若潮寮の設備面および衛生面の改善

若潮寮は、建物を含め、さまざまな設備が老朽化してきております。それに伴い、設備面や衛生面などにおいて、寮生はさまざまな不便や不満を抱えていることと思われまます。

現在も、寮生たちの不満や要望に対して少しでも応えようと、学生寮の設備面および衛生面の改善を行っているところです。しかしながら、運営費の削減や原材料費の高騰などもあり、なかなか改善が進んでいないのが現状です。

限られた予算の中ではありますが、若潮寮をより長く良い状態を維持するために、加えて寮生がより良い環境の中で寮生活を過ごしてもらうためにも、これからも設備面および衛生面の改善に努めてまいります。

今後も、学生が学校生活や部活動に生き活きと励みながら、寮の集団生活の中で様々に成長してもらえるように寮務主事室全員で見守り、後押ししていく所存です。引き続き保護者の方にご協力を頂くことばかりですが、どうぞよろしくお願い致します。

広報活動

前広報主事	ふるもと 風呂本	たけのり 武典
新広報主事	おおぬま 大沼	みお みお

1. 令和5年度の主な取組

実施している活動は以下のとおりです。新型コロナウイルス感染症のため一部活動が制限・中止・オンラインとなっておりますが順次復しております。

- ・ 4月 大崎上島中学校の研修
- ・ 5月 進学説明会（広島市）を実施
- ・ 6月 進学説明会（福山市）を実施
進学説明会（広島市）を実施
国公立高専合同説明会（東京都）
- ・ 7月 商船系高専5校合同進学ガイダンス（神戸市）
国公立高専合同説明会（大阪府）
ぴよんた杯での宣伝（広島市）
- ・ 8月 商船系高専5校合同進学ガイダンス（横浜市）
公開講座 オープンスクール（第1回目）を2日間実施
- ・ 9月 ノーベル学習館進学説明会
- ・ 10月 オープンスクール（第2回）を2日間実施
広島県町村教育長会議での宣伝（大崎上島町）
高専合同バーチャル説明会(オンライン)
- ・ その他 県内中学校からの要望による出前授業、進路説明会、個別相談等
中学校進路説明会参加 22校他、受験期の進路相談訪問・電話
夏季オープンスクール来訪中学校を訪問（主事・有志教員）
広島・岡山・近畿地区の中学校訪問（特命教授）
広島・島根でのイベント参加時に一般及び子供向け宣伝活動

2. 入学生の状況、情報の共有

今年の本校を第一希望もしくは専願者数は195名となり前年度に比べ33名程増加しました。これは昨年度に志願者が減少その反動で志願者が増加したと考えられます。また広島県公立高校の入試制度変更があり進路指導によって本校含めた国立私立校へ受験生が流れたことも要因の一つです。本校の場合在校生から後輩、家族親戚縁者への口コミ効果も大きく学校の魅力が直接近親者から伝わることも大きな特徴といえます。

昨年度新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」へ変更されたに伴い広報活動も正常化してきますので、学生主体の広報活動、学生による学校紹介や女子学生の活躍等を発信できるようにしたいと考えています。一方で私学による圧倒的な広告宣伝、学習塾の有料提携ビジネスにより国公立マーケットが私学に激しく蚕食されているのが現状であり公立高校が広報予算を増額していることから広報宣伝活動は少子化と相まって本年度ますます激しくなるものと考えられます。

3. 令和6年度の方針・取組

- (1) 中学校（中学校教諭）との連携強化
- (2) 県内対応特任教授の配置強化（2名から3名へ）

- (3) 本校主催の進学ガイダンスを広島市・福山市で開催予定（5月・6月）
- (4) 本校でのオープンスクール（8月と10月に開催）
- (5) DX人材養成に伴う学科改組の周知広報活動

今年度は、特任教授の配置強化のため、県内対応特命教授を2名から3名に増員しました。今まで活動していただいていた地域に加えて、本校の知名度の低かった、尾道・福山地域の中学校訪問も重点的に行っております。

中学校主催の進路説明会に、現時点で18の中学校から参加依頼をいただき、学校説明をしております。本校主催の進学説明会は、昨年度から一か所増やし、広島市（6月1日）、東広島市（6月8日）と福山市（6月23日）で行いました。

オープンスクールは8月3日、4日と、商船祭と同時開催の10月27日に開催予定です。国公立高専合同説明会 **KOSEN FES** が東京（6月23日）と大阪（7月14日）で、商船系高専5校合同進学ガイダンスが横浜（8月24日）と神戸（7月27日）で開催され、参加を予定しております。

今年度は学校ホームページの改訂、学校案内の改訂と学校公式に **SNS** を活用した広報活動を行っていく予定であり、準備を進めております。

本校の広報活動に、学生がとても協力的で、学校 **PR** 動画の作成に、企画、出演、撮影、編集において協力してくれたり、進学説明会に参加して学校生活や学科について発表したり、個人相談にのってくれており、大変ありがたく思っております。

進路指導 ー商船学科ー

商船学科 就職担当 むらおか 村岡 ひでかず 秀和、 ちゃえん 茶園 としふみ 敏文

1. 進路概要

図1に商船学科の過去5年間（令和元年度～令和5年度）の進路状況を示します。全体の傾向として、航海コース・機関コースともに平均すると約73%が海上職、約13%が陸上職、残り14%が進学といった状況です。

令和6年9月に卒業予定学生（令和5年度5年生）の進路状況（内定状況）を表1に示します。令和5年度5年生は、約85%の学生が船員としての海上就職予定となりました。そのうち、外航船員として内定が9名、内航船員として内定が26名（合計34名内定）となっています。

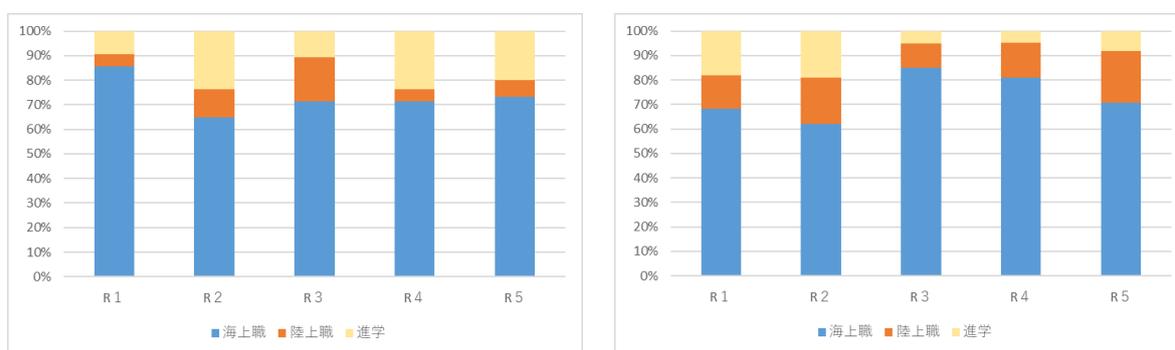


図1 過去5年間の進路状況（左：航海コース、右：機関コース）

表1 令和6年9月卒業予定学生の進路状況

航海コース（23名）	海上：19名	陸上：1名	進学：3名
機関コース（17名）	海上：15名	陸上：1名	進学：1名
商船学科（38名）	海上：85%	陸上：5%	進学：10%

2. 求人・求職の傾向

近年の求人は、外航船社ではもちろんですが内航船社においても2級海技士の筆記試験合格を入社条件としている会社も多いため、よりレベルの高い資質が求められています。

海上職・陸上職ともに、就職に際しては基礎基本の知識を有していることは当然のことながら、社会人としての責任感・協調性・社会性などのコミュニケーション能力が強く求められる傾向にあります。

海上職を目指す学生の場合、外航を志望する学生は毎年一定数いますが、数ヶ月から数週間の短期航海の内航船員を希望する学生もいます。

3. 進路指導

(1) 低学年に対して：学科長や就職担当者がホームルームの時間を利用して、就職や進学を含めた進路についての指導を行っています。不定期ではありますが、造船所見学や本校練習船の寄港地での港湾施設見学等も取り組んでいます。卒業生の講演等の機会を設定して海事関連の仕事に対する理解を深める取り組みも行っています。

(2) 高学年に対して：商船学科では担任と就職担当を中心に、本人の希望・適性・成績等を踏まえ、希望調査・個人面談等を行いながら進路を決定しています。また、4年生でインターンシップを推進しています。

進路指導 ー電子制御工学科ー

電子制御工学科 就職担当 ^{おおわだ}大和田 ^{ひろし}寛

1. 進路の概況

令和5年度の求人状況は、求人企業数が500社以上あり、例年同様に恵まれた状況でした。卒業生39名のうち6名が進学し、33名が就職しております。就職先の職種としては、多くがエンジニアとして、これまで学んできた機械、電気、情報、制御等の専門的な技術の仕事に携わります。また、企業の就職担当者の来校も130社以上に及び、今後も企業側の採用意欲が高い状態が続くと思われます。

2. 進路状況

(1) 就職

卒業生の就職先の業種は約5割が製造業で、それ以外では多い順に、電気・ガス・水道・エネルギー業等のインフラ系、続いてサービス業、建設業となっています。今年度も約2割程度の卒業生が県内・中四国地区の企業に就職しております。例年より地元志向する学生は少なくなっている状況です。

(2) 進学

進学の割合は約18%程で例年とほぼ変わらない割合となりました。大学への進学者は4名、本校専攻科への進学者は2名です。

令和5年度卒業生の進路先（電子制御工学科）（R6.3.31現在）

進路先	人数	進路先	人数
ENEOS	4	日本オーチスエレベータ	1
JR西日本	1	日立ビルシステム	1
NTTフィールドテクノ	1	富士電機	1
SCREEN SPE サービス	2	矢崎総業	3
旭化成	1	広島精密工業	1
アマゾンジャパン	2	三菱電機(株)	1
岡山村田製作所	1		
キャノンメディカルシステムズ	1	呉市役所（電気一般）	1
セガ・ロジスティクスサービス	1		
太陽工業	1	東京工業大学	1
中国電力	1	豊橋技術科学大学	2
中国電力ネットワーク	4	長岡技術科学大学	1
トーテックアメニティ	1	本校 専攻科	2

進路指導 一流通情報工学科一

流通情報工学科 進路指導担当 かねこ はるお
金子 春生

1. 進路指導（学科の取り組み）

5年学級担任が進路指導を担当し、学科全体で連携を取りながら指導にあたっています。就業意識を高める試みとして、①低学年時からの就職講義の導入、②4年生全員のインターンシップ参加、③OB・OGによる講演会、④職業適性試験・基礎能力試験の実施などの多岐に渡る就職支援プログラムを実施しています。また、公務員志望者の学生を応援し受験を突破する実をつけるため、公務員講座を開催しています。コロナ禍で現地参加型のインターンシップなどは困難な状況もありましたが、オンラインでの業界研究セミナーなどを実施しました。

2. 進路の概況

令和5年度の卒業生は41名（男子23名、女子18名）です。このうち、就職希望者は39名、進学希望者は2名となっています。就職先企業の業種の内訳については、情報通信業が40%、物流業が20%、製造業が30%、その他 サービス業などが続きます（図1）。今年度は、関東地方が56%、関西地方が15%、そして、29%の卒業生が広島県を含む中国地方の企業に就職しています（図2）。関東地方に行く卒業生は情報通信業が多い傾向にはありますが、最初の数年の研修後には広島を中心として中国地方に配属されるケースも多いようです。表1に卒業生の進路一覧を示しています。

図1 業種別就職先



図2 地域別就職先

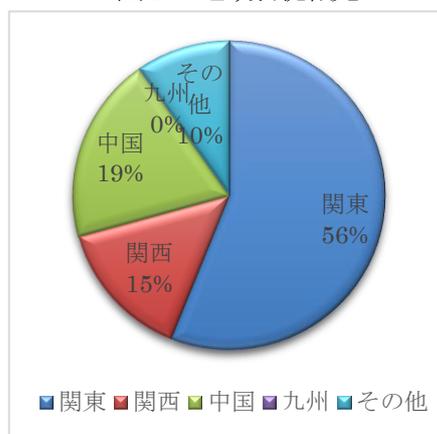


表1 進路一覧

就職	情報	ソフトバンク(株)、NEC フィールドディング(株)、NTT データフロンティア、CTC テクノロジー(株) (株)NTT-ME、NTT 西日本(株)、CTC システムマネジメント(株)、リコージャパン(株)、(株)ハイマックス モラバ阪神工業(株)、ジョンソンコントロールズ(株)、ダックシステム(株)、日東電工(株)、富士ソフト(株)
	物流	NRS(株)、川崎陸送(株)、ケイヒン(株)、(株)ロジスティード西日本、(株)宇徳
	その他	旭化成(株)、(株)イシダ、サントリープロダクツ(株)、パナソニックオペレーショナルエクセレンス(株) (株)日立ハイテクフィールドディング、(株)Mキャット、デルタ工業(株)、NS ウェスト(株)、光洋機械産業(株) (株)古川製作所、(株)midi、フォーシーズ(株)、(株)Evand、(株)レニアス、(株)あじかん
進学	長岡技術科学大学	